	活動報告シー	+	主催:北海道建築士会まちづくり委員会協力:北海道建築士会札幌支部
● 事業名	第9回まちづくりフォーラムinえべつ	●日 時	令和元年7月13日(土)
●場所	コミュニティプラザあおい	●協力団体等	後援:江別市
● 活動の種別	■景観まちづくり 口防災まちづくり 口歴史まちつ口福祉まちづくり 口木のまちづくり ■経済まちつ	う うくり ■街中 うくり ■人まち	・ (空き家)まちづくり 5づくり ロその他

● 活動目的

まちづくりフォーラムは、地域のまちづくり活動にふれ、そのまちのことや、地域が抱える問題などを知ることで、 今後のまちづくり活動へのヒントを見つけ出せる「場」となることを目的に開催するものである。

● 内 容

ものづくりのまち、子育てしやすいまちと言われ、みんなでつくる未来のまちを目指す「えべつ」。江別市の謎解きゲームを体験しながら野幌駅周辺を楽しくまちあるきするとともに、江別市役所や市民団体の代表者たちより、活発で斬新なまちづくりの取組みを学び、パネルディスカッションやワークショップを通して「まちづくりのアカルイ☆ミライ」についてみんなで考えた。なお、開会時には江別市の三好市長に来賓あいさつ及び江別市の歴史や特色についての説明をいただいた。 【まちあるき】(11:00~12:45)

北海道建築士会札幌支部理事の木谷氏から歴史説明や建物ガイドを伺うとともに、江別市リアル謎解きゲームを体験しながら、再開発の進む野幌駅 周辺をまちあるきした

【江別まちづくり取組み発表】(14:00~15:50)

パネリストの4名に江別で行われているまちづくりの取り組みや、自分達の役割についてプレゼンテーションいただいた。

- ・えべつ未来づくりビジョンについて 江別市企画政策部政策推進課 参事 中島桂一氏

- ・まちなかの私の役割は? communityHUB江別港 代表 橋本正彦氏 ・えべつセカンドプロジェクトや江厚別町について えべつセカンドプロジェクト 代表 山崎啓太郎氏 ・まちづくりにおける自分の役割について NPO法人 江別における持続可能なコモンズのためのしくみ 代表 林匡宏氏

「江別のまちのアカルイ☆ミライ」をテーマとし、山田副委員長がモデレーターを務め、上記4名のパネリストへ、①まちづくりをされていて食い 技力によるのかがかがするミッチ」をクーマとし、出面前を負長がピナレーターを扱め、上記す名のパネッストが、じょうづくりをされていて良い 扶持はどうしてる?②「えベチュンクエスト」もっと良くするには?③行政・市民団体・学生の連携について④まちづくりにおいて建築土(会) に何をしてほしい? ⑤江別のまちを魅力的にするため何をするか決意表明を! などを伺い、ざっくばらんにディスカッションが行われた。具体 的には、まちづくり活動がボランティアにならないよう稼げる仕組みやプログラムが必要との意見や、えベチュンクエストは問題を掲示しているお 店との交流(ロールプレイゲーム的)があるとよりおもしろいとの意見、そして建築土(会)へは、空き家の利活用への協力や、まちづくり活動に

店との交流(ロールプレイケー公的)があるとよりおもしろいとの意見、そして建築士(会)へは、望さ家の利活用への協力や、まらつくり活動に おいて建築士会とタイアップして新しいチームをつくりたいとの意見があった。 **【ワークショップ】(16:35~17:30)** 「あなたのまちが、10年後、世界中から注目されるアカルイ☆ミライになっていたとしたら、それはどんなまちですか? そして、その実現のた め、あなたは何をしていますか?」をテーマに、5グループに分かれて、アカルイ☆ミライのまちについて、参加者全員で、業界を超え、世代を超 えて話し合われた。グループの中には、野幌駅周辺のアカルイ☆ミライのまちを実際に描いたグループもあった(パネリストの林匡宏氏作画)。

●参加者	運営	会員	一般	学生	子ども	その他	計
	10	14	14				38







まちあるき

パネルディスカッション







ワークショップ

アカルイ☆ミライの絵(林匡宏氏 作画)

問い合わせ先	(一社)北海道建築士会 まちづくり委員会			委員長 針ヶ谷 拓己(はりがや たくみ)
連絡先	TEL 011-251-6076	FAX 011-222-0924	e-mail	info@h-ab.com
ホームページアドレス		http://h-ab.com/		